

# ● 帯広市つくし会 ●

女性自らエンパワーメント（人生を主体的に生きる力）をつけ、社会活動への参画を進め、活動している団体を紹介します。

「帯広市つくし会」会長の池山廣美さん、副会長の真野節子さん、理事の甲谷千春さんにお聞きしました。

「我が幸は、我が手で」を理念に、戦後、夫と死別された方々が全国各地で組織を設立され、帯広市でも昭和35年に「帯広市母子会」として結成されました。その後、平成12年5月に「春一番に芽生えるつくし、親、子、地域につくす」という広い意味を含めて「帯広市つくし会」に改称しました。

平成26年の母子及び寡婦福祉法の改正により母子家庭だけでなく父子家庭のお父さんの入会があり、名実ともに男女共同参画になりました。

お互いに助け合い、励まし合い、そして自立することを目指し、死別、離別の理由を問わず20歳未満の児童を扶養しているひとり親家庭の人が入会でき、会員数は約100名です。

つくし会では、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を願ってさまざまな事業に取り組んでいます。市の委託事業である「ひとり親家庭等日常生活支援」制度や会独自の支援制度である「お助けネット事業」で市の制度が利用できない部分に低料金で支援をしています。また、母親の自立を促す制度として、資格をとるための制度利用のお勧めや、高校生には奨学金制



度もあります。例会や親と子のつどいなどの行事を行い、思い出つくりや会員同士の親睦をはかっています。みんなで力を出し合って、ひとりひとりが出来ることを協力して活動しています。

全道、全国の同じ境遇の仲間たちと手をつなぎ、小さな悩みや願い事を出し合って、今の生活がより良くなるように、関係機関

や行政に働きかけています。児童扶養手当や修学資金を借りる制度ができるよう働きかけに努力してきました。

若い人の参加が少ないという課題もありますが、先輩たちの生き様を見て立たない活動を地道に55年続けてきました。

一人で子育てしている状況は同じ、お互いに共感し合えることは沢山あります。今後親と子どもの幸せのために会の活動を継続していきたいと考えています。

取材を終えて、女性の行動力で社会を変えられるのではないかと勇気もらいました。

◆ 連絡先 0155-48-11408

(会長 池山廣美) まで

URL <http://tukushi2008.web.fc2.com>

## 帯広市男女共同参画推進員 出前講座

帯広市男女共同参画推進員は市民協働のパートナーとして、市の男女共同参画推進に協力し、情報誌の企画・編集やセミナーの企画・運営、出前講座で朗読劇などを行っています。

2015年10月14日に、十勝私立幼稚園連合父母の会の委員会で行ったという性別役割分担意識について考えるお話です。

参加者からは「お互いの感謝の気持ちをお忘れず協力して家事・育児を行うことが大切」、「夫にも聞かせたかった」、「家に帰ってから役割分担について改めて話し合いたい」という感想や意見が出されていました。

他にもいろいろな朗読劇を用意しており、団体やサークルなどにお伺いします。

推進員も募集しております。詳しくは男女共同参画推進課までお問い合わせください。



皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

〒080-8670

帯広市西5条南7丁目 帯広市役所 男女共同参画推進課

電話：0155-65-4134 FAX：0155-23-0171

電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

平成27年10月発行

● 発行：帯広市

● 企画・編集：帯広市男女共同参画推進員

清水マチ子・池田 淳一・伊藤 容子

遠藤 妙子・沼田 秀実・浦端 昭道

宮本奈津子